

政務調査研究視察 報告書

平成18年12月28日提出

視 察 日	平成18年5月9日（火）～10日（水）
視 察 先	太田市、松戸市
視 察 内 容	行政評価、マネジメントについて
視 察 者	近藤隆志、小野政明、中根義金
太 田 市	<p><行政評価、マネジメントシステムについて（太田市）></p> <p>1、行政評価の概要</p> <p>基本としては「市役所はサービス産業である」という認識のもと、企業の経営感覚の手法を取り入れ、市民ニーズに合った質の高い行政サービスを効率的に提供するため、「目的・成果重視」や「コスト意識の徹底」を目標として、有効性や効率性を追求し、施策の方向性を検索改善するために行っている。</p> <p>（1）評価対象は「主として施策」</p> <p>「政策一施策一業務事業一業務」に序列にしてだって体系的に整頓。</p> <p>（2）「定量的評価」に努める</p> <p>可能な限り、客観的な尺度、数値に置き換えて表現する。</p> <p>（3）事前、中間、最終のチェックをする</p> <p>（4）役割と責任</p> <p>市民満足度の向上を図るための方向においては、責任を明確にすることが必要である。</p> <p>運用スケジュール（年間）</p> <p>（イ） 4・5月…コスト計算書、目的志向体系表、施策評価表、主要事務事業評価表の作成</p> <p>（ロ） 6月…市民満足度調査の実施</p> <p>（ハ） 7～8月…3課合同ヒヤリングの実施</p> <p>（ニ） 8～9月…部方針書の作成、庁議の開催</p> <p>（ホ） 10～3月…中間・最終評価の実施</p>

< 行財政改革（経営戦略策定支援プロジェクト）について（松戸市） >

「あれもこれも」から「あれかこれか」への転換を！

目的

「松戸市行財政改革計画」中・長期的な改革を実現するための方法論を確立します。

松
戸
市

- ① 松戸市行政経営システムを確立（持続させるための改革工程表を策定する）
- ② 内部マネジメントを戦略的に変革するために、サマーレビューの手順、改善のポイントを整理
- ③ サマーレビューでの判断基準となる戦略計画の策定手順を確立。

【提言を実践するために】

～経営会議での意志決定～

- (1) 中・長期的な改革の実現に向けて、改革工程表を公開すること
- (2) サマーレビューの前に政策ごとの基本方針を策定すること
- (3) 行政評価システムを活用して成果対コストでサマーレビューを実施すること

～円滑に導入するための工夫～

- (1) 市長の全庁に向けての宣言
- (2) 幹部職員向けの講演会・研修
- (3) きめ細かいサポート体制

[感想・岡崎市への反映]

松戸市も太田市も、財政面でひっ迫になってから、行財政改革に取り組んでいますが、市民サービスの面からいって、もっと早く恒常的にこういった取り組み方をしていく必要があると感じました。